

教科	芸術		科目	書道 I	単位数	2
学年	1年		類型	流通経済科・情報ビジネス科・ 地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編 書道 I (教育出版)					
副教材(出版社)						
授業の概要	漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に関する表現や鑑賞活動を通して、書の基礎的な能力を伸ばし、物の見方、考え方を育成する。					
授業の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 書写から書道へ		1 中学校で学習した書写の学習内容を確認し、書写を基礎としながら、新たに書への視野を広げ、書道の学習の意義や目標を理解する。		
		2 楷書		1 各古典を鑑賞し、それぞれの古典の作者や時代背景を理解する。 2 楷書の基本点画、線質の表し方、結構や字形の取り方を学習する。		
	2 学期	3 行書		1 代表的な古典を鑑賞し、作者や時代背景に関する理解を深める。 2 古典の特徴を把握し、行書の基本的な用筆法を学習する。		
		4 漢字仮名交じりの書		1 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字や仮名の特徴を理解し、用具、用材や形式、構成などの表現方法を工夫し、作品を制作する。		
5 篆書		1 逆筆・蔵峰を学習する。				
3 学期	6 篆刻		1 篆刻をとおして、書を刻す文化を学習する。 2 刻し終えた印を鑑賞し、印の美を理解する。			
	7 仮名		1 仮名の成立と変遷を理解する。 2 仮名の基礎を学ぶことにより、流動美、紙面構成を学習する。			
観点別 評価	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力		
	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。		
備考	書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいるか。授業態度、提出作品を総合的に判断して評価する。					